

作業種別	制限の有無	山地治山工区分	工種区分	名称	規格	土質名	単位	数量	
								障害なし	障害あり
ルーズな状態の積込	あり	A	溪間工	バックホウ(クローラ型)運転	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.45m3(平積0.35m3)	砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(I)A	m3	110	77
						岩塊・玉石	m3	86	58
						破碎岩	m3	67	39
			山腹工			砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(I)A	m3	77	58
						岩塊・玉石	m3	58	48
						破碎岩	m3	39	28
		B	溪間工			砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(I)A	m3	120	86
						岩塊・玉石	m3	97	67
						破碎岩	m3	77	48
			山腹工			砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(I)A	m3	86	67
						岩塊・玉石	m3	67	58
						破碎岩	m3	48	39
	なし	A	溪間工	バックホウ(クローラ型)運転	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.80m3(平積0.6m3)	砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(I)A	m3	180	130
						岩塊・玉石	m3	150	100
						破碎岩	m3	120	67
			山腹工			砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(I)A	m3	130	100
						岩塊・玉石	m3	100	84
						破碎岩	m3	67	50
B		溪間工	砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(I)A			m3	200	150	
			岩塊・玉石			m3	170	120	
			破碎岩			m3	130	84	
		山腹工	砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(I)A			m3	150	120	
			岩塊・玉石			m3	120	100	
			破碎岩			m3	84	67	

(注) 1 制限の内容

制限あり：狭隘で旋回範囲に制限がある場合

制限なし：上記以外の場合

2 現場条件の内容

障害なし：作業現場が広く、地盤が緩んでいて、しかも作業妨害が少なく連続作業が可能等の条件がそろっている場合。または、掘削深が最適でも地山が固い場合又は掘削深さが最適でなくても土が緩んでいる場合等、下記の障害ありに該当しない場合。

障害あり：作業現場が狭く、掘削深さが最適でなく又は地山が固く、かつ連続作業が困難で作業妨害が多い等の条件がそろっている場合。床掘作業で土留矢板、切梁・腹起し、基礎杭等があつて作業妨害となる場合。

3 破碎岩とは、~~鉄鋼~~中硬岩及び硬岩を破碎したものをいう。

ルーズな状態の積込	10,000 m3未満	あり	バックホウ(クローラ型)運転	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(1)A	m3	122	94
				岩塊・玉石・破碎岩	m3	94	65	
		なし		標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.80m3(平積0.6m3)	砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(1)A	m3	211	162
				岩塊・玉石・破碎岩	m3	162	113	
	10,000 m3以上 50,000 m3未満	あり		標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(1)A	m3	143	110
				岩塊・玉石・破碎岩	m3	110	76	
		なし		標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.80m3(平積0.6m3)	砂・砂質土・粘性土・礫質土・軟岩(1)A	m3	248	190
				岩塊・玉石・破碎岩	m3	190	133	

(注) 1 制限の内容

制限あり：狭隘で旋回範囲に制限がある場合

制限なし：上記以外の場合

2 現場条件の内容

障害なし：作業現場が広く、地盤が緩んでいて、しかも作業妨害が少なく連続作業が可能等の条件がそろっている場合。または、掘削深が最適でも地山が固い場合又は掘削深さが最適でなくても土が緩んでいる場合等、下記の障害ありに該当しない場合。

障害あり：作業現場が狭く、掘削深さが最適でなく又は地山が固く、かつ連続作業が困難で作業妨害が多い等の条件がそろっている場合。床掘作業で土留矢板、切梁・腹起し、基礎杭等があつて作業妨害となる場合。

3 破碎岩とは、~~鑄鋼~~硬岩及び硬岩を破碎したものをいう。

(2) 単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
バックホウ(クローラ型)運転	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3) 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.8m3(平積0.6m3)	日	100/D	表2.1
計				

備考 D：日当たり施工量

(3) 機械運転単価表

(運転日当たり)

機 械 名	規 格	指 定 事 項	適用機械工歩掛
バックホウ(クローラ型)(掘削、積込)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	運転労務数量→1.00(供用日) 燃料消費量→62 機械損料数量→1.46	02-01-285 02-01-296
バックホウ(クローラ型)(掘削、積込)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.8m3(平積0.6m3)	運転労務数量→1.00(供用日) 燃料消費量→100 機械損料数量→1.41	02-01-315 02-01-326

02-10 法面工機械運転

02-10-010 発動発電機運転

10(13)KVA (日)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	13.00	2.0ℓ (=14kw×0.145) ×6.4h
機 械 賃 料	日	1.00	
計			6.4h/日運転

備考：10-06-360 植生用マット張工に適用する。

02-10-020 モルタルコンクリート吹付機運転

湿式・モータ駆動0.8~1.2m³/h (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	3.40	18kw×0.191
機 械 損 料	時 間	1.00	
計			

備考：10-11-300 特殊配合モルタル吹付工、10-12-400 簡易吹付法砕工に適用する。

02-10-030 空気圧縮機運転

可搬式スクルーエンジン掛10.5~11m³/min (日)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	81	指定事項
機 械 賃 料	日	1.71	指定事項 排出ガス対策型 (第2次基準値)
計			

備考：10-12-400 簡易吹付法砕工 (砕内吹付) に適用する。

02-10-040 発動発電機運転

45KVA (日)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	36	指定事項
機 械 賃 料	日	1.71	指定事項 排出ガス対策型 (第3次基準値)
計			

備考：10-12-400 簡易吹付法砕工 (ラス張工、砕内吹付) に適用する。

02-10-050 ホイールローダ運転

普通・山積0.34m³ (日)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	15.00	指定事項
運 転 手 (一 般)	人	1.00	指定事項
機 械 賃 料	日	1.55	指定事項 排出ガス対策型 (第3次基準値)
計			

備考：10-12-400 簡易吹付法砕工に適用する。

02-10-120 発動発電機運転

25KVA (日)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	24.00	23kw×0.145×7.4h
機 械 賃 料	日	1.00	
計			7.4h/日運転

備考：10-10-560 植物発生材吹付工に適用する。